

## 概況

新型コロナウイルスの感染拡大の継続によって、茶席に人々が集まって、飲食をともにする茶会活動を行いにくい状況ではあるが、感染対策を行い、制限された中での茶会活動が少しずつ再開できるようになった一年となった。

感染対策の方法もすっかり定着する中、安心して活動に参加する人々と、依然として活動を控える人との二極分化がはっきり見られ、参加者の数は、限られたものとどまっている。

高齢者が参加者の主体である状況では、若年層を中心とした世間の活動再開の動きと比べ、茶会活動の復活が抑制されたものとどまらざるを得ないもどかしさを感じさせられる時もあった。

教習では引き続き、原点に戻って、基本の教習を少人数で行う中で、何かをつかんだ教習者が出現する傾向が拡大してきた。自分にとって茶道との関りが不可欠であるとの認識を深めた人々の存在を増やすことが、将来の核になることを信じて活動を継続した一年であった。

I. 茶道文化研究に関する学術的研究を振興するための顕彰・助成および研究（公益目的事業1）  
毎年出版される外部のすぐれた茶道文化研究を顕彰するのみならず、外部の研究者の茶道文化研究をも助成、あわせて独自の調査研究を行い、それらの成果を公開する。

### 1. 茶道文化研究の顕彰

- ・令和4年に出版されたすぐれた研究図書に対して、茶道文化学術賞・茶道文化学術奨励賞を贈呈するための茶道文化学術賞選考委員会を開催したが、該当作は無しとの判断にとどまった。

### 2. 茶道文化研究への助成

#### ・茶道文化学術助成

有望な研究計画に対して奨励研究・一般研究に分けて研究費助成を行うとともに、研究図書に対する刊行費助成を行い、茶道文化研究を促進するための茶道文化学術助成申請の受付を、本年度も中止した。

### 3. 茶道文化の調査研究

#### (1) 茶道文化に関する幅広い調査研究

調査研究事業の研究項目は、「茶道の芸術社会学的研究」「江戸初期茶書類の研究」という項目を掲げて調査研究を行った。

#### (2) 研究成果は、最終的に単独の研究書刊行を目標とする

## II. 茶道文化体験の提供及び茶道文化体験を提供できる茶道文化普及者の育成（公益目的事業2）

新型コロナウイルスの感染拡大によって、不特定多数の人々を対象にした体験教室を開催することは全面的に中止した。一方、十分な感染対策を行ったうえで、茶道文化普及者の育成の継続を図った。

### 1. 茶会の実施（主催）

・令和4年度の実施結果は、以下のとおり

春季大会	於 護国寺→徳友会館	令和4年4月29・30日
仙樵忌茶会	於 徳友会館	令和4年10月2日
秋季大茶会	於 護国寺→徳友会館	令和4年11月6日
初釜	於 徳友会館	令和5年1月6～8日
三徳庵公開（月二回程度）	於 徳友会館	令和4年9月～3月

### 2. 茶会の実施に対する協力

(1) 慈善目的、文化施設公開目的の茶会の実施に対して協力し、茶道文化体験の普及並びに、文化財の公開に協力。

令和4年10月8日 根津美術館 臨時青山茶会

(2) 例年のとおり、護国寺、東京茶道会の茶会に協力。

令和4年4月10・11日 東京茶道会招待茶会（令和4年2月の予定を繰り下げ）  
令和5年2月11日 東京茶道会招待茶会

(3) その他、茶道美術展などに対する添釜・呈茶に関しては、適宜担当者を決めて、受託または斡旋を行った。

### 3. 茶道講座の開催

(1) 本部等において、茶道教習、関連文化講座を実施した。

点前 および茶花教習	於 本部教場	
夏期講習会	於 日本教育会館→本部教場	令和4年7月23・24日、 8月6・7日
夏期集中教習	於 本部教場	令和4年8月5日、21・ 22日、28・29日
出版記念特別講演会	於 日本教育会館	令和4年8月27日
茶道常識特別講演会	於 本部教場	令和4年6月25日
特別講演会	リモート開催	令和4年9月22日 令和5年2月12日

(2) 大日本茶道学会各支部等の主催する講習会へ講師を派遣し支援

福岡地区研修会 於 大濠公園日本庭園 令和4年5月8日  
山梨県支部講演会 於 山梨県立図書館 令和4年10月30日

(3) 受託事業として、各地の文化センターで茶道講座の開催

①朝日カルチャーセンター 新宿・千葉・横浜・名古屋  
②NHK文化センター 仙台・郡山・川越  
③株式会社読売・日本テレビ文化センター 横浜  
④三越カルチャーサロン 於 三越日本橋本店  
⑤『定年時代』共催特別講座 於 本部教場

(4) 学校等の授業・特別行事に協力

花園幼稚園 令和4年11月11日  
花園小学校 令和4年11月29日  
世田谷区弦巻小学校 令和4年12月23日  
  
さいたま市子供茶道教室 令和4年7月27～30日  
日本のおどり文化協会主催 子供茶道教室 令和4年7月30日 浅草公会堂  
令和4年8月15日 深谷市城址公園

(5) 地域への普及協力

お茶を点ててみませんか 令和4年9月17日

(6) 学校での茶道教習普及を目的とした指導者育成のための講習会ならびにスキルアップの研修会を開催

学校茶道特別研修会 於 本部教場 令和4年7月29,30日  
学校茶道資格者研修会 於 本部教場 令和4年7月31日

#### 4. 教習段階の認定

(1) 大日本茶道学会茶道（茶花科も含む） 教習者の教習段階の認定

(2) 教習資格の十二伝の段階では、筆記試験を実施

茶道講座筆記試験 於 本部教場 令和4年9月10日  
令和5年3月11日

(3) 最終の長盆段階では、実技試験も実施。

長盆実技試験 於 本部教場 令和4年11月26日  
令和4年2月26日

(4) 学校等での茶道講習の期間に応じた修了証を発行した。

#### 5. 点前体系の公開

- ・『茶箱』4分冊（基本の所作編・風の式・雅の式・頌の式）を刊行
- ・Youtubeに公式チャンネルを開設し、動画配信を行った。

#### 6. 広報・普及活動

(1) フェイスブックに加えて、Youtubeの運用も定例化。

(2) 茶道文化普及のための広報誌「えんじゅ」NO.111～114を発行。

(3) マスコミ等の取材に積極的に協力して、一般の人々にむけて茶道文化に関する記事・映像に触れる機会が少しでも高まるように努めた。

『読売新聞』『茶の湯』展特集、『産経新聞』利休生誕500年特集、  
NHK総合『歴史探偵』、NHKBS『英雄たちの選択』  
映画「嘘八百Ⅲ」（脚本作成）

(4) 大日本茶道学会各地方支部の本部機構として、支部長の認証を行い、支部長会議を主催し、全国で適切な茶道文化普及が行われるように統一目標を示す他、支部が主催する総会、例会、周年記念行事等の機会をとらえて、講話を行い、茶道文化普及の趣旨を各支部会員に徹底する。

埼玉県支部連合会総会	令和4年4月24日
千葉県支部総会	令和4年5月22日
宇都宮支部80周年記念講演会	令和4年11月27日
神奈川県支部総会	令和5年3月18日

(5) 茶道普及に寄与する部外講演会

読売文化センター	「茶人しか知らない茶道の魅力」	令和5年1月29日
朝日カルチャーセンター	「利休と天下人」	令和5年2月28日

(6) 各地でも公益性の高い活動に、適宜参加して、茶道文化普及活動を全国的に促進

農林水産省三番町会議所一般公開にお茶会体験で協力 令和4年11月26・27日

(7) 所蔵文化財の掲載許可

『津田宗及茶日記』（「天王寺屋会記」） 淡交社（翻刻許可も含む）・新潮社

### Ⅲ. 茶道関連、図書・用品の販売（収益事業 1）

1. 仕入れ商品の販売

- (1) 茶道学習に役立つ図書や茶道用品を仕入れ販売して、茶道学習や茶道文化体験への利便性を高めた。

IV. 管理部門（法人会計）

1. 会員

- (1) 賛助会を組織し、賛助会会費による財団運営の安定化を図り、より開かれた形の賛助会員制度の定着を図った。

2. 寄附

- (1) 新型コロナウイルス蔓延化で、全国的に不安定な状況にあることを鑑み、積極的な募金活動には、踏み切れず、積極的な理解者からの賛同を受け止める形となった。

V. 処務の概要

1. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年5月16日 々	令和3年度事業報告承認の件	原案の通り承認可決
々	令和3年度貸借対照表及び正味財産増減計算書及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	原案の通り承認可決
々	定時評議員会招集の件	原案の通り承認可決
令和5年3月13日 々	令和5年度事業計画書承認の件	原案の通り承認可決
々	令和5年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件	原案の通り承認可決
々	令和5年度資金運用方針および計画の承認	原案の通り承認可決

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和4年6月19日 々	令和3年度事業報告承認の件	原案の通り承認可決
々	令和3年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	原案の通り承認可決

(3) 茶道文化学術賞・学術助成金 選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和5年3月10日	茶道文化学術賞・学術賞奨励選考の件	茶道文化学術奨励賞を選定

2. 許可、認可及び承認に関する事項

申請月日	申請事項	許可等月日	備考
なし	なし	なし	

3. 契約に関する事項（借入金契約、借地契約、工事請負契約その他重要な契約）

契約年月日	相手方	契約の概要
なし	なし	なし

4. 寄付に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込金額	領収金額	備考
文化普及活動への活用	174名	¥10,610,760	¥10,610,760	自由意志による寄付条件方法特になし

5. 主務官庁指示に関する事項

指示年月日	指示事項	履行状況
令和4年6月25日	令和3年度事業報告等の届出	内閣府に提出
令和5年3月28日	令和5年度事業計画等の報告	内閣府に提出

事業報告の附属明細書

1. 役員その他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

区分	氏名	兼職先法人等	兼職の内容	関係
理事	徳川 斉正	公益財団法人 徳川ミュージアム	理事長	同一部類の事業を実施